

ごあいさつ



外務省の助成金により完成した小学校贈呈式でソーケイン副首相から感謝状を受ける小山内代表

日ごろ全国各地から寄せられる皆さまの温かいサポートに心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

私共は、1993年9月の設立以来、「できることからはじめよう」をモットーに、カンボジアやネパールにおける基礎教育の普及に取り組んで参りました。

学校建設は、皆さまのご賛同により、着工済校舎を含めて338棟まで支援を進めることができました。中でも、外務省より「日本NGO連携無償資金協力(N連)」の助成を受け、プレイベン州に3棟の校舎とトイレや給水設備の施設建設、衛生指導を実施できたことは特筆すべき成果です。私も2015年8月に実施された贈呈式に出席し、この成果の一端を確認することができました。ネパールでは2015年度末までに8棟34教室の贈呈が完了し、2016年度は新たに1棟の小学校建設を予定しております。

ソフト面では、日本の各分野の専門家に協力いただき、音楽や美術などの教員トレーニングやカリキュラム開発を目指すと共に、支援対象校の各教師の授業観察会を行いました。長年にわたる支援の成果として、カンボジアの小学校に芸術科目が新設され、週1時間の授業が割り振られることが現実になりました。更に、これまで何度も申請しながら不採択の結果に終わっていた、JICA草の根技術協力事業に採択されることが決定しました。現在、今年度か

ら5年間にわたる事業の準備を進めておりますが、私たちJHPが目指している「すべての子どもたちが学校で質の高い芸術・情操教育を受けることができる」という目標に向けて、より高いステージで活動をスタートさせる重要な1年となります。

また、東日本の支援は、復興を祈念する桜の植樹を継続し、2016年4月には1304本まで達成することができました。しかし、4月14日には九州の熊本を中心に大分まで被害が広がる未曾有の巨大地震が発生。当会理事が熊本在住という関係もあり、その情報をもとに救援第一陣が支援物資と共に出発し、その後も役職員や会員が活動を行っております。

運営面では、中期活動方針や行動基準にそって活動を進め、引き続き組織基盤の安定を目指して参ります。また、当会へのご寄付や賛助会費は、所得や税額からの控除が可能な領収証を発行できますので、この制度をご利用くださいませ。

私たちは、行動基準に、「社会的に弱い立場の人々の自立を支援する」ことを掲げています。支援の対象となる「子ども」の成長を、ハードとソフトの両面から支え、一人ひとりの未来をより良く変えていけるように、これからも歩みを続けます。

2016年度も、様々な機会に皆さまとお会いできることを楽しみにしております。

小山内美江子

JHPの活動・歩み

設立経緯

- 1991年、JHPの前身であるJIRACとして湾岸戦争後に取り残されたクルド難民の救援を学生達とイランで実施した。
- 同年12月、小山内美江子と二谷英明らがカンボジア難民救援のため、タイ国境キャンプを視察し準備に入る。
- 1992～93年、タイ国境からのカンボジア帰還難民救援活動の中から、子どもたちのための学校建設の必要性を把握。
- 1993年9月15日にJIRACの中から「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。
- 1997年4月より会費会員制に移行して、「JHP・学校をつくる会」に改称。
- 2000年10月に東京都より特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を受け、11月に登記完了。
- 2004年1月1日に日本で19番目に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。
- 2014年2月24日に東京都より認定NPO法人の認定を受けた。

- | | |
|------|--|
| 1993 | カンボジア活動隊派遣開始(以後年2～3回を継続)。(写真A) |
| 1994 | JEN設立に代表小山内が参画。駐在員1名をユーゴスラビアへ派遣。 |
| 1995 | 阪神淡路大震災発生。当日から救援活動開始。(写真B)
カンボジアにプノンペン事務所設置。旧ユーゴスラビア隊を定期的に派遣。 |
| 1996 | 音楽教育プロジェクト開始。カンボジアに音楽教師1名派遣。
アフリカに毛布を送る運動の構成団体として学生の現地派遣開始。 |
| 1997 | 地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の構成団体となる。 |
| 1998 | カンボジア教育省とNGO活動の合意書を結ぶ。(写真C) |
| 1999 | 美術教育プロジェクト開始。日本人教師1名派遣。初の絵画展を開催。 |
| 2000 | プノンペン市認定の音楽教師7名を誕生させる。 |
| 2001 | JENの構成団体としてインド地震救援隊4名派遣、テントなどを支援。
カンボジア王国と覚書を交わし正式なNGOに認められる。 |
| 2002 | ユニセフと合同でアフガニスタン支援実施。駐在員1名派遣。
JHP初の孤児院完成。CCH(幸せの子どもの家)支援開始。(写真D) |
| 2003 | JHP初のラオス校舎完成、ボスニア活動隊4名派遣、100棟目の校舎完成。 |
| 2004 | 新潟水害、中越地震の支援活動実施。 |
| 2005 | カンボジアにて第1回音楽コンテスト実施(以後年1回実施)。
三宅島帰島ボランティア支援活動に参加。 |
| 2006 | JHP・藤原紀香カンボジア子ども教育基金スタート。
小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ開講。
代表小山内がカンボジア王国よりモニサラボン大十字勲章受賞。 |
| 2007 | 設立15周年記念祝賀会を開催。マーチングバンド、CCHの子どもが来日出演。 |
| 2008 | 1人1万円の呼びかけで631人が賛同し、200棟記念校舎が完成。
代表小山内が第20回毎日国際交流賞を受賞。 |
| 2009 | 国際ボランティア・カレッジが第3回浄土宗共生(ともいき)・地域文化大賞を受賞。
新たな支援対象国の候補としてネパール調査を実施。 |
| 2010 | アカウンタビリティ・セルフ・チェック2008を実施。
学校建設の実績が250棟超える。 |
| 2011 | 東日本大震災発生(3月11日)。仙台市若林区、南三陸町にて支援活動を行う。
平成23年度外務大臣表彰を団体として受賞。(写真E)
JHP初となるネパールでの学校建設を開始する。 |
| 2012 | JHP創設者の一人で元副代表の二谷英明氏が1月7日に逝去する。
公益財団法人かめのり財団より、「第5回かめのり賞」の表彰を受ける。 |
| 2013 | JHP行動基準が制定される。(詳細は裏表紙を参照)
JHP初となるネパールでの校舎が2棟完成し、贈呈式を行う。
300棟記念校舎が完成。(写真F) |
| 2014 | 設立20周年を祝う、記念の集いを開催。
教育支援事業の充実を目指した「ドレミとアート基金」設立。初年度の目標300万円を達成。 |
| 2015 | 外務省日本NGO連携無償資金協力の助成事業に採択される。(8ページ参照) |
| 2016 | JICA草の根技術協力事業(「カンボジア王国における芸術・情操教育支援事業」)に採択される。
アカウンタビリティ・セルフ・チェック2012を実施。(詳細は裏表紙の下欄参照) |



(写真A)



(写真B)



(写真C)



(写真D)



(写真E)



(写真F)